



## 喜多埜

## 七夕祭

七月七日はいわずと知れた七夕の日です。

近年は宗教性が強いとの理由で、小中学校などでは行事として取り入れられる機会が減り、子供たちには縁の薄いものとなってしまいました。七夕は子供たちの**技芸の上達**を願う行事でもありました。

そもそも七夕の伝説とは、彦星という大変な働き者と、織姫という天帝の娘で、**機織り（はたおり）**が大変上手な女性が恋におち、次第に遊んでばかりで仕事をしなくなった為に、天帝は怒って二人を、**天の川**を挟んで引き裂き、年に一度、七夕の日だけにしか合わせないようにした。というのが一般的な七夕伝説です。ここで、働き者と機織りというのが**大事**なところで、子供たちには、

「ちゃんと働いていれば神様は二人を祝福してくれる。でも、働かずに遊んでばかりいれば神様はお怒りになる。」

と諭し、**自分たちの過ち**で離れ離れになってしまった彦星、織姫の二人にお願いすれば、「私たちのように遊んでいてはダメだよ。まずやるべき事をちゃんとやるんだよ」

と、**技芸が上達する御力**が頂けると信じられ、次第に技芸上達の行事として発展していききました。

近年では恋愛の行事としての七夕ばかりが注目されますが、昨今の殺伐とした子供を見ると、**親と子の触れ合い**、**先人の良心の伝承**が断ち切られた現代には、**子供の情操教育**の為の行事として大切なものであったと感じずにはいられません。

## 御旅所七夕祭

本年も茶屋町の御旅所では例年通り七夕祭を斎行致します。期間中には**短冊奉納**（一枚百円）などの行事や、ご家庭でもお飾り頂ける**七夕笹**の授与などがございます。

夏の夜に、それぞれのお願い事を胸に、どうぞお参り下さい。

場所 網敷天神社 御旅所

日時 平成十八年七月六日、七日

時間 午後四時頃～午後十時頃まで

## 六月二十五日

この日は実は天神さまこと菅原道真公の誕生された日といわれています。

道真公の生涯と天満大自在天神になられてからの御神威を描いた『**北野天神縁起絵巻**』によると、道真公の御父君であられる是善卿の前に天神様が**童形で降臨**された日も言われておりますが、兎にも角にも天神様が**この世に現われた当日**であります。

この日をお祝いし**御誕辰祭**（ごたんしんさい）という祭典が全国の天神社では執り行われています。**天神様のバースデー**といったところでしょうか。この頃には**ケーキのイチゴ**ならぬ、**梅の実**も大きく実り、天神様を言祝いでいるかのような風景が見られます。

## 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ボーダフォン

e z web 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

